

甲府市農業委員会 8月定例総会議事録

1. 日 時 平成30年8月30日（月曜日）午後2時45分から4時1分

2. 会 場 ホテルクラウンパレス甲府

3. 出席委員（18名）

会長・西名武洋 会長職務代理者・柿嶋 敦

【農業委員】

1番 保坂 敬夫 2番 福島 昌之 3番 矢崎 正勝 4番 米山 夫佐子
5番 落合 洋子 7番 土屋 三千雄 8番 長田 孝夫 9番 菊島 建
10番 關野 登 11番 森 信二 12番 花形 満寛 13番 末木 瑞夫
14番 土屋 正人 15番 萩原 爲仁 16番 小林 雅宗 17番 山本 一

【最適化推進委員】

1番 植田 泰 2番 山本 光信 3番 平澤 友良 4番 望月 典雄
5番 埴原 久徳 6番 柳澤 榮 7番 萩原 靖彦 8番 萩原 斉
9番 越石 和昭 10番 市村 秀俊 11番 向山 章雄 12番 齊藤 藤雄
13番 佐々木茂隆 14番 渡邊 初男 15番 塚田 泰英 16番 佐野 勝紀
17番 米山 伸一 18番 深田 喜徳 19番 小澤 博

4. 欠席委員（1名）

6番 田中 由美

5. 職務のために出席した農業委員会事務局職員の職氏名

事務局 長 青木 進
農地係 係 長 齊藤 欣也
係 長 佐野 慶一
主 事 一ノ瀬 匠
振興係 係 長 岡 正己
技 師 吉澤 雅貴

6. 議 案

議案第1号 農地法第3条の規程による許可申請について
議案第2号 農地法第5条の規程による許可申請について
議案第3号 平成30年9月告示分農用地利用集積計画について
議案第4号 納税猶予に関する適格者証明願いについて

議案第 5 号 平成 31 年度甲府市農業行政施策に関する意見書について

議案第 6 号 平成 30 年度甲府市農業賞候補者の推薦について

報告案件

報告第 1 号 農地法第 3 条の 3 第 1 項の規定による届出について

報告第 2 号 農地法第 4 条の規定による届出について（市街化区域届出）

報告第 3 号 農地法第 5 条の規定による届出について（市街化区域届出）

報告第 4 号 耕作土搬入届出について

報告第 5 号 農用地利用集積計画の解約について

午後 2 時 45 分 開会

○事務局（斉藤係長）

それでは、平成 30 年度 8 月定例総会を始めます。

本日の会議は、農業委員が定数 19 名中 18 名が出席しておりますので、農業委員会等に関する法律第 27 条第 3 項の規定により、この会議が成立していることをご報告いたします。

つづきまして、西名会長より ごあいさつ をいただきます。会長お願いいたします。

○議長（西名会長）

《 西名会長 挨拶 略 》

○事務局（斉藤係長）

ありがとうございました。では、甲府市農業委員会総会会議規則により、会長が議長を務め会議を進めて参ります。会長よろしく、お願いいたします。

○議長（西名会長）

ただ今から、甲府市農業委員会 8 月定例総会を、農業委員会等に関する法律、並びに甲府市農業委員会総会会議規則により、会議を進めて参りますのでお願いします。

それでは最初に、8 月定例総会の議事録署名委員ですが、議席の順番により、8 番の長田孝夫委員、9 番の菊島建委員のお二人にお願いしたいと思います。

それでは早速、議案の審議に入っていきたいと思います。議案第 1 号は農地法第 3 条の規定による許可申請についてです。事務局より説明をお願いします。

○事務局（一ノ瀬主事）

今月の第 3 条許可申請は有償移転が 1 件、無償移転が 3 件であり、譲受人は第 3 条の資格要件を全て充たしております。それでは説明に入ります。議案書 1 ページの 1 番をご覧ください。申請地の所在・地目・面積・譲渡人・譲受人については、議案書

○議長（西名会長）

事務局からの説明が終わりました。

つぎに、現地確認をしていただいた千塚・池田地区の福島委員より補足説明をお願いしたいと思います。

○千塚・池田地区委員（福島委員）

福島です。説明いたします。〇〇〇〇と前から農作物と花を作っていて、近くにあるJA甲府市採れたてランド池田店に持って販売しているそうです。農機具は面積に合わないすごくいい駐車場や農機具をたくさん持っていて、やるんならもうちょっと農地があった方がいいと思ったのですが、本人はすごくやる気がありますので、ご審議の程お願いします。

○議長（西名会長）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。皆様から、質問や意見はありますか。

今、福島委員より説明があったとおり、農機具や倉庫は規模以上のものがあるということで、本人はやる気も十分で、私も話をした経緯があります。

《 無しの場合 》

○議長（西名会長）

それでは、採決をいたします。

議案第4号に賛成の方は、挙手をしてください。

《 全員賛成 》

○議長（西名会長）

ありがとうございました。

全員の方の賛成をいただきましたので、議案第4号については、適格証明を交付してまいります。

つぎに議案第5号は、平成31年度甲府市農業行政施策に関する意見書についてです。事務局より説明して下さい。

○事務局（岡係長）

議案の第5号について、私の方から説明させていただきます。すでに、農業委員、最適化推進委員には、資料ということで郵送させていただいておりますので、一読していただいていると思います。この意見書については過日、今月17日に運営委員会を開催し、その中で委員さんにご協議いただいた中で、ところどころ修正したものを意見書としてご提案させていただきます。

《 別紙『平成31年度甲府市農業行政施策に関する意見書』主だった所の説明 》

平成31年度甲府市農業行政施策に関する意見書ということで、取りまとめたものをご提案させていただきます。以上です。

○議長（西名会長）

事務局より、重点事項、皆さんご意見をいただいて変更した部分の説明をしていた

いただきました。運営委員会で、農業委員と最適化推進委員の代表の皆さんに集まっていただき、原案作りに携わりました。当然その前段階で各ブロック会議の意見をまとめたもので、こちらを皆さんで協議いただき、変更する点をさきほど説明のあったとおりに変更して、案として提案したところです。この後、ご了解いただければなるべく早く9月中に市長へ提出していきたいと事務局は考えているそうです。説明を聞いたり、目を通していただく中でご意見等ありましたら、お願いします。

はいどうぞ、萩原委員。

○山城地区委員（萩原委員）

萩原ですけど、ひとつだけ要望をお願いします。せっかく取りまとめていただいた中でお願いするのはちょっと時期が遅れたと思いますが、周りの人たちから大型機械、トラクターの貸し出しについて、以前は行った時にその場で貸し出してくれたのですが、今は道路交通法あるいは、許可がなければ道路を走れなくなったということで、積載車または、大きな車を自分で用意しなければ借りることができない実態ということです。周りの人たちから農業センター内に積載車があるので、それを貸し出していただくことができれば、トラクターや大型機械を借りて仕事がスムーズに行えるという声があります。大型機械を借りたいという希望者が多い中でも積載車を用意することができない、または、できたとしても積載車に乗せて降ろして、また乗せて返しにいくということは非常に困難で、危険を伴うということを考慮した貸し出しなど要望書の中に入れていただきたいと思います。

○議長（西名会長）

今の意見については、農義具の貸し出しの際の積載車を市の方で準備してくれないかと言う問題かと思えますけど、事務局の方で法律的な制限等もあるかと思えますけど局長、説明をお願いします。

○事務局長（青木課長）

すでにご承知のとおり、トラクターは以前、どんどんの貸していたのですが、外部の方の指摘を受けて、トラクター本体だけであれば道路を走ることはできるのですが、後ろにロータリーがついていてはだめだということで、最終的に市として決定されました。現在もトラクター本体だけの自走はできますが、ロータリーを軽トラなどで運んで貰えば大丈夫ということです。でも、皆さんが必要ということであれば、積載車も一緒に貸し出しもするようということを要望書に記載しますが、いかがでしょうか。

○山城地区委員（萩原委員）

ちなみに、積載車は普通免許で運転できますよね。荷台も低床で危険性が低いものだと私は解釈していますが。

○事務局長（青木課長）

それは大丈夫です。太い長いはしごもありますので、安全に乗り降ろしもできると思います。

○山城地区委員（萩原委員）

できたらそのようにしていただきたいと思います。トラクターを借りたくても使えないというのが実態です。そんな要望をかなり聞いています。ぜひ要望書に挙げていただきたいと思います。

○議長（西名会長）

利用率を上げる、或いは、使う人に喜ばれるなどの面から、積載車を用意して欲しいと。運転は普通免許でできるわけですから自分で運転する積載車ですね。市の職員に運ばせるとなると別の話になってしまいまして、他の物も運んでというとお手上げになってしまいます。とりあえず、萩原委員、積載車を準備して欲しいという要望ですね。

○山城地区委員（萩原委員）

はい。

○議長（西名会長）

これでしたら、みなさんもお賛同いただけますでしょうか。農業センターの方では警察から指導を受けて、法律上は公道を走る場合はアタッチメントをつけて走ってはいけないそうです。積載車を準備していただき貸し出ししてもらえば解決することですから、これを意見書の中へ加えていくということではいかがでしょうか。

《 会場から「はい」の声多数 》

○議長（西名会長）

ありがとうございました。では、萩原委員、そういう内容に訂正させていただき、意見書の原案を作り直したいと思います。他になにかご指摘ありますか。

《 指摘なし 》

○議長（西名会長）

よろしいですか。それでは、今の点だけを事務局と、会長、職務代理にご一任していただいてこの意見書を作成しなおして市長のほうへ提出していくということで、皆さんのご了解をいただきたいと思います。

○議長（西名会長）

つぎに議案第6号。平成30年度甲府市農業賞候補者の推薦についてです。事務局より選考の経緯も含めて説明して下さい。

○事務局（岡係長）

議案の第6号の甲府市農業賞候補者の推薦についてです。本来ですと本日の総会資料の中に入れ郵送するつもりでしたが、個人情報がかかり書き込まれておりますので今日の総会終了後に回収させていただきますので、よろしくお願いします。

《 別紙『甲府市農業賞被表彰候補者推薦書』について経緯等を説明 》

○議長（西名会長）

この件について事務局より、説明がありました。この問題については北、中、南の

ブロックごとに、今年は北になりますが1名ずつその年度に推薦者を出していただき、甲府市農業委員会全体として推薦していくという手順で進んでおります。今回は〇〇〇〇〇〇という経歴、経営内容を含めて大変素晴らしい方が候補に上がっております。まさに甲府市農業賞にふさわしい方ではないかと思えます。このことについては、全員の拍手をもってご賛成をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

《 全員の拍手 》

○議長（西名会長）

ありがとうございました。全員の賛成の拍手をいただきましたので、甲府市農業賞の被表彰者として〇〇〇〇を推薦することに決定させていただきます。

以上で、予定している案件は、全て終了いたしました。その他として皆さんの方にお諮りしたいことがあります。青木事務局長お願いします。

○事務局長（青木課長）

この農業委員会が新しい制度になって、ちょうど1年が過ぎました。早いところでは、1年半や2年経った農業委員会もありますが、特に今回の制度改正の主な改正点として、皆さんご承知のとおり「農地利用最適化推進委員」を置いて積極的に活動していただき農地利用の最適化をするということを国が求めてこのような改正を行ったわけですが、正直言いますとなかなか成果が上がっていないのではないかと、度々言われまして、来月早々にも会議が開かれることになっています。農業委員の皆さまも、最適化推進委員の皆さまも、まだ手探りの部分があって、何をやったらいいのか、どんなことをやっているのかなど、まだまだ分からないところが沢山あるのではないかと思います。前回皆さんにお集まりいただいたときに、他の地区の最適化推進委員の方がどのような活動をしているのか事例発表など発表会をという意見がありました。なかなか毎月の総会に皆さまに集まってもらうのも大変だと思いますので、年に4回程度全員で、どの地区ではどのようなことを最適化推進委員がやっているのか、情報の意見交換会をやっていったらどうかと考えておりますので、ぜひ皆さんの意見をお聞きしたく、お諮りしたいと思います。

○議長（西名会長）

事務局長から説明があったとおりです。この問題は、過日開かれた運営委員会でも意見がありました。すでに2年目に入っていますが、委員の皆さんも十分理解ができず、行動したい気持ちもあるけれど行動できないとか、委員さんによって活動に温度差があることが話題になりました。この温度差をどうやって解消し、みんな同じ意識の中で実践できるかという中で一年間やってきましたし、最適化推進委員の中では過去に農業委員をやった方もおられますので、過去に成功や失敗などいろんな経験を積んでいると思います。こういった事例を知る中で活動を理解すると同時に、どうしたらいいかという具体的なものをつかめる様な機会を、事務局長から話があったとおり、年4回くらい情報交換、事例発表の場を作る中で、最適化推進委員、農業委員を含めて情報の共有ということが大事だと思います。さあやりましょうと言っても、掛け声

だけでなかなか進まず、足踏みをしているのが現実だと思います。運営委員会の中でもこういった指摘や意見が出て、委員さんも重要なことなので総会で諮って実行してくれということでまとまりましたので、みなさんに事務局長の方からその他ということで諮らせていただきました。甲府の場合特にそうですが、昨年改選の時に少ない農業予算の中から委員さんの手当てについて、他は最適化推進委員のほうが農業委員より若干低い設定がほとんどで、県下の中で甲府だけ、農業委員も最適化推進委員もやることは同じだからということで、事務局と話をしてなんとか同じにしてもらわないと、最適化推進委員を新たに選ぶ時や切り替えの時にお願いをすることは、大変難しいということで報酬についても同額を支給していただくことを実現しています。こういうことを踏まえて我々は、貢献して仕事をしていかなければならない責務を背負っていると思います。あまり先にこういう話をするより、1年経った今がタイミング的に丁度いいのではないかとということです。皆さんの方から何かありましたらお願いしたいと思います。

○最適化推進委員（山本委員長）

最適化推進委員の山本です。この問題は、当初この制度が発足する時点で農業委員の皆さんは月に1度の定例会を開催していますが、最適化推進委員は、いつどこでどういう形でやるのかわからない状態でスタートしました。できることであれば、毎月はともかくとして、年に何回か計画性をもって検討会を開いていただきたいことは、既に発足時点で私の方からお話はしていました。今、一年経った経過の中でそういう方法をということ、遅らばせながらであっても実現できる段階をとっていただきたい。それに加え、こういう難しい問題を抱えておりますから、ただ話し合いだけではなくて、良い事例も悪い事例も、現地でそういう体験をしている地域もあろうと思います。これは甲府市だけでなく、県下の中で良い事例があれば百聞は一見にしかずではないですけど、見てお互いに学びあうということも兼ね合わせながら機会を捉え、できるだけ回を重ね、こういう話し合いの場を作っていただきたいと私個人も考えますし、最適化推進委員の皆さん方も、指名されたけど目的は分かっています、なかなか実現の場になると難しさがあるということなので、早急に対応して行動に移していただければいかがかなと。

○議長（西名会長）

山本最適化推進委員長から最適化推進委員の皆さんの気持ちを汲んでいただいたようなご意見をいただきました。今、研修という話が出ましたが、これについても農業委員会として両委員の研修を計画していますから、ただ単にすばらしい県外を視察するだけでなく地道な活動のための研修を主に検討していますから、山本委員長のお話のような内容の研修になるのかなと思います。

では、そんなことで今後の活動の予定を計画性を持って最適化推進委員と農業委員の情報交換会、あるいは研修会をやっていくということによろしいでしょうか。

〈 賛同の拍手 〉

○議長（西名会長）

ありがとうございました。

○最適化推進委員（山本委員長）

やると同時にまずは、第 1 回としていつ、どんな形でという計画くらいはこの場で何か案があればお願いします。

○議長（西名会長）

今、具体的には、来月どこでやってくれという計画は持っていませんけど、年に 4 回を想定した計画は立っていきたいと思いますから、ブロック毎にということになりますので、事例発表ということを中心ということであれば北、中、南の順番でよろしいですか。今後日程については、北ブロックの最適化推進委員さん、農業委員さんと直接事務局で協議をしながら日程をつめていくということではいかがでしょうか。

○議長（西名会長）

では、そんな形でやらしていただきたいと思いますので、ご了解いただきたいと思
います。以上をもちまして、8 月定例総会の議案の審議はすべて終了いたしました。

皆様のご協力に感謝いたしまして、議長の席をおろさせていただきます。

ありがとうございました。

午後 4 時 0 1 分 閉会

会 長 _____ ⑩

議事録署名委員 _____ ⑩

議事録署名委員 _____ ⑩